

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-290818

(43)Date of publication of application : 05.11.1993

(51)Int.Cl.

H01K 1/32

H01K 1/28

H01K 1/34

(21)Application number : 04-088524

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRON CORP

(22)Date of filing : 09.04.1992

(72)Inventor : MIYAMOTO SHOZO

## (54) LAMP BULB INSIDE REFRIGERATOR

## (57)Abstract:

**PURPOSE:** To illuminate the refrigerator inside over a wide range and to exhibit stored goods clearly by setting wall-thickness dimension and neodymium oxide containing quantity at given values in a straight tubular glass outer tube for housing linkage lamp bulbs in which plural miniature lamp bulbs are connected in series.

**CONSTITUTION:** In a lamp bulb for the refrigerator inside, linkage lamp bulbs 3, in which plural miniature lamp bulbs 2 are connected in series, are housed in a straight tubular transparent glass outer tube 1 including neodymium oxide, bases 4 are fixedly mounted on both ends of the glass outer tube 1, and both the end leads of the linkage lamp bulbs 3 are connected to respective bases 4. In such constitution, the wall thickness of the glass outer tube 1 is preferable within a range of 0.4-1.2mm from the absorption effect of yellow color light and luminous flux quantity, and the containing quantity of neodymium oxide is desired to be 3-7wt.% on the basis of all luminous flux and a mean color rendering evaluation number.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

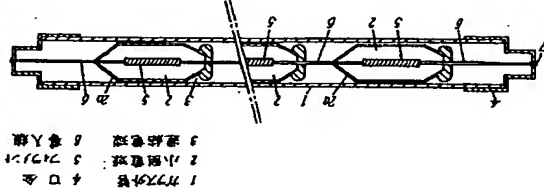
(19)日本国特許庁(JP) (12)公開特許公報(A) (11)特許公開番号  
特開平5-290818  
(43)公開日 平成5年(1993)11月5日

(51)Int.Cl. <sup>4</sup>		F I		技術表示箇所	
H 01 K	1/32	C	9172-5E		
	1/28		9172-6E		
	1/34		9172-5E		
(21)出願番号		特願平4-88524		(71)出願人 000005843	
(22)出願日		平成4年(1992)4月9日		松下電子工業株式会社	
				(72)発明者 宮本 昇三	
				大阪府門真市大字門真1008番地 松下電子工業株式会社内	
				(74)代理人 弁理士 小堀治 明 (外2名)	

## (54)【発明の名称】 庫内用電球

## (57)【要約】

【目的】 冷蔵庫内を均一に照明し、また冷蔵庫内の取  
扱物の色彩を鮮やかに見せることができるようにする。  
【構成】 肉厚が0.4～1.2mmの寸法を有し、かつ  
酸化ネオジウムを3～7重量%含む直管状の透明ガラス  
外管1内に、複数の小型電球2を直列に接続した連結電  
球3を収納し、さらにガラス外管1の両端に口金4を固  
着する。



## (11)特許請求の範囲

【請求項1】 直管状のガラス外管1内に、複数の小型電  
球を直列に接続した連結電球3を収納してなり、前記ガラ  
ス外管は、肉厚が0.4～1.2mmの寸法を有し、かつ  
酸化ネオジウムを3～7重量%含むことを特徴とする庫  
内用電球。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】  
【産業上の利用分野】 本発明は冷蔵庫等の庫内照明に用  
いられる庫内用電球に関するものである。

【0002】  
【従来の技術】 従来、この種の庫内用電球としては、E  
12またはE17のE形口金を備え、外径が20～22  
mmの丁形バルブを使用した小型の透明電球が用いられて  
いる。

【0003】  
【発明が解決しようとする課題】 しかし、このような従  
来の庫内用電球では、フィラメントをコンパクトに形成  
しているため、点光源的な照明となり、冷蔵庫内の一部  
しか照明できず、またバルブに透明ガラスを用いている  
ために、放射光が電球特有の黄色光となり、冷蔵庫内に  
収納された品物の色彩を鮮やかに見せることができない  
という問題があった。

【0004】 本発明は、このような問題を解決するため  
になされたもので、冷蔵庫等の庫内を広い範囲にわたっ  
て照明でき、また庫内の収納物を鮮やかに見せることが  
でき、さらに庫内の温度上昇を抑制することのできる庫  
内用電球を提供するものである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明の庫内用電球は、  
直管状のガラス外管1内に、複数の小型電球を直列に接続  
した連結電球3を収納してなり、前記ガラス外管は、肉厚  
が0.4～1.2mmの寸法を有し、かつ酸化ネオジウム  
を3～7重量%含むものである。

## 【0006】

【作用】 かかる構成により、冷蔵庫等の庫内を広範囲に  
わたって均一に照明でき、かつガラス外管1内に含まれた  
酸化ネオジウムの作用により庫内に収納された品物を鮮  
やかに見せることができる。また、ガラス外管1内に、複数  
の小型電球を直列に接続した連結電球3を収納しているの  
で、ガラス外管1の発熱部分から生じる熱が局所的にな  
らず分散され、このため庫内用電球の温度上昇を抑制す  
ることができる。

## 【0007】

【実施例】 以下、本発明の一実施例について、図面を用  
いて説明する。

【0008】 図1は本発明の一実施例である冷蔵庫内用  
電球の断面図である。図1に示すように、本発明実施例  
の冷蔵庫内用電球は、酸化ネオジウムを含む直管状の透  
明ガラス外管1内に、複数の小型電球2を直列に接続し  
た連結電球3を収納し、ガラス外管1の両端に口金4を  
固着し、それぞれの口金に連結電球3の両端導入部を半  
田付け等で接続したものである。

【0009】 小型電球2は、長さが約25mmであり、筒  
状の透明ガラス管2aの軸上にフィラメント5が位置す  
るように、フィラメント5の両端部にかしめられた導入  
線6をガラス管の両端部に真空封止したものである。連  
結電球3は小型電球2の両端の導入線同士を接続するこ  
とにより、小型電球2を10個直列に接続してなり、前  
記のように両端導入線を口金4に半田7によって接続さ  
れている。

【0010】 発明者はこのような構成において、まず、  
ガラス外管の肉厚を変化させて実験したところ、ガラス  
外管の肉厚が0.4mm未満であると、黄色光の吸収が小  
さく、ネオジウムによる効果が不十分となり、また機械  
的強度の低下も著しく、一方1.2mmを超えると、光束  
が著しく低下するとともに、ガラス外管の屈折が高面と  
なり、いずれの場合も不可であることが認められた。し  
たがって、ガラス外管の肉厚は0.4mm～1.2mmの範  
囲が好ましい。

【0011】 なお、このガラス外管の外径については、  
庫内への出っ張りが大きくなり、庫内容積が狭まって収  
納量が少なくなり、品物の収納時に邪魔となるので、1  
5mm以下程度とすることが好ましい。

【0012】 発明者は図1に示す構造の110V22W  
の庫内用電球について、ガラス外管1の外径を10mm、  
その肉厚を0.9mm、長さを34.0mmとし、かつ酸化ネ  
オジウムの含有量を表1に示すように電球を変えたガラ  
ス外管を使用した電球を製作し、これらを点灯試験し、  
それぞれの電球の全光束および平均演色評価数Raを測  
定したところ、表1に示すところの結果が得られた。ま  
た、かかる庫内用電球を冷蔵庫の冷蔵庫内の前方のドア  
一付近の上部に水平方向に取り付け、冷蔵庫内に収納さ  
れた品物（以下、収納物という）の視認性について調べ  
たところ、以下に述べるのとおりとなった。表1におい  
て、○印は可、×印は不可をそれぞれ示す。

【表1】

【表1】

試料 No.	ネオジウム含有量 (重量%)	全光束 (lm)	Ra	判定
1	1	135	94	X
2	3	127	90	O
3	5	120	85	O
4	7	113	81	O
5	9	109	76	X
6	11	107	73	X

【0014】表1からわかるように、試料5および6は全光束が110lmを下回り、全光束が低下し明るさが不足するので、不可であり、また試料1は全光束が110lm以上で、平均演色評価数Raも80を上回るが、黄色光(530~590nm)の吸収が少なく、演色面の白さや収納物を鮮やかに見せず、すなわち演色性が悪いことが認められた。試料2、3および4はいずれも全光束が110lm以上で、明るさが十分にあり、かつ平均演色評価数Raが80以上で、黄色光の吸収も、演色面の白さや収納物を鮮やかに見せることが認められた。したがって、本発明の所期の目的を達成するためには、酸化ネオジウムの含有量として、3~7重量%の範囲に限定するのが好ましいことが明らかとなった。

【0015】本発明の室内用電球の典型的な照度分布を図2に曲線Aとして、また従来の室内用電球の照度分布を図3に曲線Bとして示している。図2と図3の対比はわかるように、冷蔵庫のように比較的狭い室内で、光から近い距離で照らされる照度分布は本発明の室内用電球のように、光量が長いものの方が均一で、影も発生しにくい。

【0016】また、本発明の室内用電球の典型的な分光分布を図3に曲線Cとして、従来の室内用電球の分光分布を図4に曲線Dとして示している。

【0017】一般に、ネオジウムガラスは、透過した光の中から黄色光(波長570~590nm)を吸収し、電球特有の黄ばみを除き、物体の色を鮮やかに見せるもの、一般のネオジウム電球は全光束が約20%も低下するとされているが、本発明実施例の室内用電球では全光束の低下は約10%と少なく、しかも冷蔵庫内照度が白色のために、従来の室内用電球より明るく、庫内の収納物を鮮やかに見せることができる。

【0018】以上のように、本発明実施例の室内用電球は、小型電球2を直列に接続した連結電球3をネオジウム入りガラス外管1に収納し、その両端に口金4を固着したもので、冷蔵庫内を広く照らすに均一に照明し、かつ収納された品物を鮮やかに見せることができるものである。また、ガラス外管内に、小型電球を直列に

接続した連結電球を収納しているもので、小型電球1個当りの発熱量が小さくなり、庫内用電球全体の発熱量も小さくなるために、電球による冷蔵庫内の温度上昇の抑制を図ることができる。

【0019】なお、上記実施例ではネオジウム入りガラス外管の両端に口金を固着した場合について説明したが、本発明は小型電球を直列に接続した連結電球の導線的一端をガラス外管内で、導入端の他端位置まで絶縁誘導し、ガラス外管の片端に口金を取り付けたものでも、上記と同様の効果が得られるものである。

【0020】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は直管状の透明ガラス外管内に、小型電球を直列に接続した連結電球を収納してなり、前記透明外管ガラスは、肉厚が0.4~1.2mmの寸法を有し、かつ酸化ネオジウムを3~7重量%含むことにより、庫内を広く照らすにわたって均一に照明することができるとともに、庫内に収納された品物の色鮮やかに見せることができ、しかも庫内の温度上昇を十分に抑制することができるというすぐれた効果を有する室内用電球を提供することができるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例である室内用電球を示す断面図

【図2】同室内用電球の照度分布図

【図3】従来の室内用電球の照度分布図

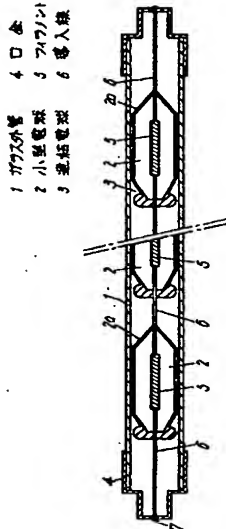
【図4】本発明の一実施例である室内用電球の分光分布図

【図5】従来の室内用電球の分光分布図

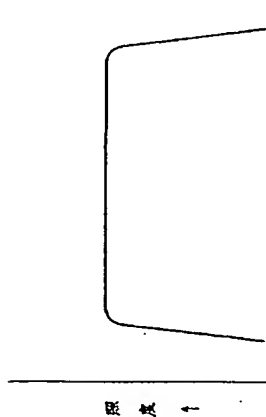
【符号の説明】

- 1 ガラス外管
- 2 小型電球
- 3 連結電球
- 4 口金
- 5 フィラメント
- 6 導入線

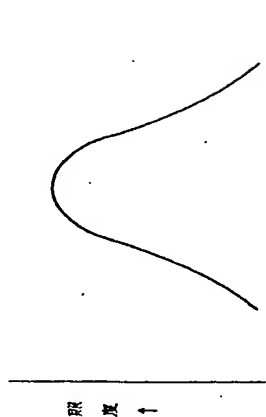
【図1】



【図2】

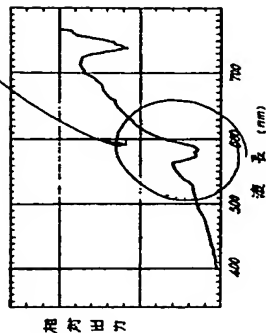


【図3】



【図5】

【図4】



【図5】

